

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 28 年 10 月 28 日 No37

## 3 年アダプト（アダプトって何だ？）



**福津** 福間東中生徒が海岸の松原清掃 福間東中（福津市津丸）の3年生20人が24日、同市西福間の福間海岸そばの松原を訪れ、清掃活動をした。写真。

松原は、地元住民グループ「ふくま郷づくりの会」が毎月、手入れをしている。今月30日には一帯で「海岸松原ウォーク」が予定されており、大勢の観光客が予想されることから、同会が草刈りを実施。中学生たちは刈られたままの草を集め、松林を歩きやすくした。同会副会長の中村勝利さん（73）は「活動の中心は高齢者なので、若い世代が手伝ってくれてありがたい」と目を細めていた。

松原は、地元住民グループ「ふくま郷づくりの会」が毎月、手入れをしている。今月30日には一帯で「海岸松原ウォーク」が予定されており、大勢の観光客が予想されることから、同会が草刈りを実施。中学生たちは刈られたままの草を集め、松林を歩きやすくした。同会副会長の中村勝利さん（73）は「活動の中心は高齢者なので、若い世代が手伝ってくれてありがたい」と目を細めていた。

平成 28 年 10 月 26 日（水）  
西日本新聞朝刊

### はなしの横丁



西日本新聞に載せていただいた記事です。この活動は3年生のアダプトプログラムとして実施しました。アダプト(adopt)とは「養子縁組をする」という意味で、公共の場所を民間がわが子のように面倒を見る手法として、環境保全などに活用されている制度です。福津市では費用を市が負担し、学校などが作業を請け負い様々な環境保全活動を行っています。



本校では毎年1年生と3年生が「みずがめの郷（久末ダム周辺）の清掃活動」を行っています。



3年生はその他に上西郷小学校出身者による「旧ポプラ前の花壇の花植え作業」もアダプトとして行っています。

また、今年度は新聞にも取り上げていただいたように「松原保全活動」を行いました。実は福間海岸の松林保全活動は2年かけてやっと実現したアダプトでした。ここ2年間雨で残念ながら実施できていなかったのです。「もっと時間をかけて活動したかった」という感想が3年生の意気込みを物語っていますね。

